

八峰CS通信

平成29年度
第 21 号
H30/3/22 文責
CSディレクター 川尻

来年度の実践に向けて、第4回学校運営協議会

3月15日今年度最終の第4回学校運営協議会が開催されました。

森田会長のあいさつに続き、前回学校関係者評価が行われた各校学校評価の改善策が説明されました。目標設定（P） 実践（D） 評価（C） 改善（A）のいわゆるPDCAサイクルによる学校経営に運営協議会の意見が反映されました。

引き続き、今年度の八峰町コミュニティ・

11月に実施した保護者アンケートでは各校の「開く」「聴く」「関わる」活動について高い評価を得ました。課題として、コミュニティ・スクールとしての活動の周知や学校への関わりにより地域を「つなげる」取組が必要であることがあげられました。また、学校運営協議会や熟議で学校に必要な支援などを話し合う機会ができてよかったです。

「グループになる」と発言しやすい「学校単位で話し合う」とより具体的な見が出され、今後の会の持ち方について参考になりました。

来年度の計画については、学校運営協議会、熟議、



学校訪問による研修会などの日程が提案され、具体的な取組については、「コミュニティ・スクールがどんなものか」を分かっていくので、名称を考えてみてはどうか、「コミュニティ・スクールの取組を町の広報にコーナーを願

いしてはどうか」「小学生と町民の交流の場として、地区児童会を各地区の公民館で行う。初年度は、まずモデル地区で行う。PTA地区委員や自治会長の協力を仰ぐ。各地区の困りごとの情報を学校に集め、子供会や生徒会で話し合う」など、委員の方々からたくさん意見の意見をいただきました。八峰町コミュニティ・スクールネットワークについて話し合

度作成の方向で話し合いました。

御多忙中の参加ありがとうございました。

がとございました。

「八峰町小・中学生の生活」完成

八峰町の共通実践事項として校長会が原案を作成し、学校運営協議会で協議した結果、左のような「八峰町小・中学生の生活」ができました。

ここに記載されている内容は、八峰町小・中学生の生活の目安で

あり、学校・家庭・地域で子どもたちを育てるキーワードにしたいと思えます。

来年度早々、各校でPTA総会の際に、保護者に紹介した上で、町ぐるみで取り組めるよう、全戸配付したいと思えます。

「八峰町小・中学生の生活」完成

八峰町の共通実践事項として校長会が原案を作成し、学校運営協議会で協議した結果、左のような「八峰町小・中学生の生活」ができました。

ここに記載されている内容は、八峰町小・中学生の生活の目安で

「八峰町の子どもたちが身に付ける行動」

八峰町小・中学生の生活

八峰町教育委員会・八峰町学校運営協議会・八峰町校長会・八峰町PTA連合会

【学校・家庭・地域では】

元気なあいさつ！ 明るい返事！

【家庭では】

<p>早寝早起き朝ごはん！</p> <p>睡眠時間 9時間</p> <p>朝食は1日のおかずといっしょに食べよう</p>	<p>授業の続きは家庭学習で！</p> <p>宿題+自主学習（めやす）</p> <p>1・2年生 30分 3・4年生 50分 5年生 60分 6年生 70分</p>	<p>きそく正しい生活を！</p> <p>小学生～1日に1回は音読・読書の時間を。 週に1回は親子で一揃に読書の時間を。</p> <p>夜9時以降はネットにつながる端末やゲーム機を 持たない！</p>
<p>睡眠時間 8時間</p>	<p>宿題+自主学習（めやす）</p> <p>1年生 80分 2年生 90分 3年生 100分</p>	
<p>睡眠時間 7時間</p>		

保護者のみなさんへ 「よさを認め、大いにほめましょう！」「家族の会話を大切にしましょう！」

※ 学校・家庭・地域みんなで育てていきましょう。

卒業式で、子どもたちは次のステップに向け、立派に巣立っていきました。



今年度スタートした八峰町コミュニティ・スクールですが、各校の取組や学校運営協議会委員の皆様の御協力で、ある程度の成果をあげられたと感謝しております。「地域とともにある学校」「町ぐるみで子どもたちを育てる」ために、まだまだやらなければならぬところがたくさんあると思えます。ただ、無理に進めることなく、十分話し合いながら、一歩ずつ前進し、学校・家庭・地域のみんながWing&Wingになればと思っています。来年度も御協力、よろしくお願ひします。

CSディレクター 川尻